

小松市は、石川県西南部に広がる豊かな加賀平野の中央に位置し、産業都市として発展し、南加賀の中核を担っています。

東には霊峰白山がそびえ、その裾野には緑の丘陵地、そして田園、平野が広がっています。それを縫うように梯川が流れ、安宅の海に注いでいます。

・市章



中の図形は『小』を図案化したもので、工業、商業、農業それぞれの伸展を願ったもの。外周の図形は『松』の枝を図案化し調和と円満、そして限りない発展を表したものです。

・市の木 ... 松

約 1,000 年前花山法皇が北陸に巡幸され、梯川のほとりに花園をつくり、小松を植えたというのが地名の起こり。その由来から、市制 40 周年（1980 年）を記念して、市の木に松を選びました。

・市の花 ... 梅

小松の基礎を築いた前田利常公の家紋『剣梅鉢』から梅としました。寒さにめげず、百花にさきがけて咲き、花も実もある姿は、市民性をよく表しています。市制 40 周年（1980 年）を記念して制定されました。